



## [課題1]

### 多様な性を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

#### ① 柏中学校の取組

柏中学校では、「性について考え、豊かな生き方を探究する」というテーマの下、性に関わる様々な課題の正しい知識と理解を促し、生命や多様性の尊重を大切にした「性教育」の取組を実践している。主に総合的な学習の時間を通して、調査研究活動を取り入れた課題解決学習として取組を進め、より探究的で協働的な学習を目指している。

#### ② 推進事業としての活動内容

11月10日(月)15時より、本校体育館において、宝塚大学看護学部教授の日高庸晴氏による「LGBTQ+の現状」と題して、講演会を実施した。子どもだけではなく、大人も学ぶことを目的に、本校の保護者、パートナー校の小学校の教職員や保護者など、多くの参加者とともに開催することができた。

#### ③ 先生方の実態

11月の講演会に向けて、先生方に「セクシャルマイノリティ」について事前アンケートを実施。LGBTQ+の生徒と実際に関わった経験があるかとの設問には、6割強の先生が「ある」と答えている。またカミングアウトされた経験のある先生は3割ほどおり、「セクシャルマイノリティ」について、生徒がより認識を深めるべきと考える先生方が9割強であった。まさに学校現場では、自分らしさを安心して表現できる環境をつくることや異なる価値観をもつ互いを尊重し合う雰囲気をつくることが求められている。

## [課題1]

## 多様な性を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

## ④成果

・「セクシャルマイノリティ」の方が、いじめを受けたり、自殺をする割合が高いという実態に改めて真摯に取り組んでいかねばならないと感じた。

・生徒がカミングアウトしたいと意志を示した時の教員の体制づくりや手だてをしっかりとしておく必要がある。

・教員として、どのような姿勢で接すべきかを学んだ。

以上が、アンケートより先生方の成果としてあがっていた点である。講演会を実施して、先生方にとって新たな気づきや学びがあり、これからの生徒と向き合う際の心構えができた。

## ⑤課題

・自分らしさを表現できる環境をつくるため、また、異なる価値観を持つ互いを尊重し合う雰囲気醸成する必要があること。

・そのためにも、教師や保護者、身近な大人たちが性の多様性について正しく理解し、性の多様性に寛容な態度を身に付けることが必要である。

## ⑥今後の取組の方向性

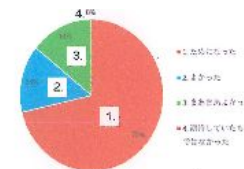
・様々な研修を通して、教職員の意識の向上を図っていく。

・本校の進める性教育の学習も、生徒の現状を踏まえつつ、包括的に人間尊重の教育が推進できるよう活動内容についてもブラッシュアップしていきたい。

## &lt;講演会事後アンケートより&gt;

1 講演会は、いかがでしたか。

質問項目	%
1. ためになった	71%
2. よかった	14%
3. まあまあだった	14%
4. 期待していたものではなかった	0%



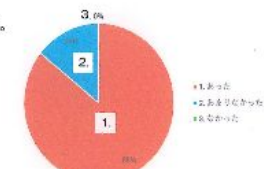
2 セクシャルティのことが理解できましたか。

質問項目	%
1. よく理解できた	36%
2. だいたい理解できた	64%
3. よく理解できなかった	0%



3 講演を聞き終わって、何か気づきや学びがありましたか。

質問事項	%
1. あった	86%
2. あまりなかった	14%
3. なかった	0%



4 講演を聞き終わって、自分の中で何か変化はありましたか。

質問事項	%
1. あった	62%
2. あまりなかった	38%
3. なかった	0%





【課題1】

多様な性を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

第53回全国教育研究大会(札幌2025)  
第53回北海道教育研究大会札幌大会

【基本テーマ】  
自分らしく生きる未来を拓く性教育  
～性の現代的な課題への対応を踏まえた指導の在り方～

日程 令和7年7月26日(土)～27日(日)  
会場 ホテルライフォート札幌

【主催】 全国教育研究推進協議会(全国性)  
【共催】 北海道性教育研究会、札幌市性教育研究会  
【協賛】 日本性教育協会(JASE)  
【後援】 文部科学省/こども家庭庁/全国公立幼稚園、こども園長会/全国道立小学校長会/全日本中学校長会/全国高等学校長協会/全国特別支援学校長会/(公)日本 PTA 全国協議会/(一社)全国高等学校 PTA 連合会/(一社)日本実業団連合会/(公)日本学校保健会/全国学校保健主事会/全国養護教諭協議会  
/(公)日本看護婦人科協会/(公)日本看護協会/(公)日本助産師会/北海道/札幌市/北海道教育委員会/札幌市教育委員会/北海道国公立幼稚園、こども園協議会/北海道小学校長会/北海道中学校長会/北海道高等学校長協会/札幌市立幼稚園、こども園長会/札幌市小学校長会/札幌市中学校長会/札幌市立高等学校、特別支援学校長会/北海道 PTA 連合会/札幌市 PTA 協議会/(公)北海道学校保健会/札幌市学校保健会/北海道養護教諭会/札幌市養護教諭会/(一社)北海道道徳協会/北海道道徳研究会/(大)北海道教育大学/他 (順不同)

柏中学校の「性教育」について

歌川 瑞紀  
札幌市立柏中学校 養護教諭

1. 柏中学校の性教育のあゆみ  
本校における性教育は、昭和42年に「読書教育」についての研究委託を札幌市教育委員会から受け、教育課程に「性教育」を位置付けたところからスタートした。以来、全教育課程を通して指導の充実を図ることができるよう、実践的研究を重ねてきた。  
平成12年度からは、学習指導要領の改訂に合わせて、それまで保健体育科・道徳・特別活動を中心として行ってきた性教育を、「総合的な学習の時間」へと位置付けた。より探究的で協働的な学習を目指し、課題研究活動を取り入れた課題解決学習として定着していくようになったのもこの時期である。  
子どもたちを取り巻く家庭環境や社会環境は大きく変容し、性に関する意識や価値観も多様化している。このような情勢を受け、令和3年度には、それまでの「男女を知り、生き方を考える」というテーマから、「性について考え、豊かな生き方を探究する」というテーマへと改定した。性を含めた多様性についての正しい知識と理解を促し、生命尊重や多様な尊厳を大切にしたい取組を進めている。

2. 総合的な学習の時間V(性教育)  
本校の総合的な学習の時間のうち、性教育は12月～3月に実施している。

自分自身に関すること  
身体の発育・発達に関すること、  
心理的な発達に関すること

人間尊重の精神  
生命尊重、男女の関わり  
人間関係に関することなど

社会的な内容  
ジェンダー、家庭や社会との関わり、  
性情報、性被害・加害、性感染症など

「人間としての生き方」の学習

<柏中学校の全体研究主題>  
主体的に学び、豊かに生きる力を拓く教育の在り方の探究  
<総合的な学習の時間「性教育」のテーマ>  
性について考え、豊かな生き方を探究する  
<総合的な学習の時間「性教育」のねらい>  
性に関する様々な課題を追究する中で、社会の一員としての生き方を考える。

1学年テーマ「自分を知ろう」  
2学年テーマ「多様な性との関わりを考えよう」  
3学年テーマ「自分の生き方を考えよう」

<図1 柏中学校の性教育 グランドデザイン>

<各学年のねらいと活動内容>

1学年 11時間	ねらい 本校の特色である性教育を基本として学び、今生きている自分のルーツをたどり、将来における自分の生き方を模索する。
2学年 17時間	ねらい 性教育を通して多様な性について考え、自分たちの生き方に関わる課題を設定し、その課題を解決する活動を通して、他者とのよりよい関係の築き方について考える。
3学年 11時間	ねらい 1学年から、継続的かつ系統的に行われている性教育をベースに、3年間のまとめを行う。自分自身のからだや心に関すること、人間関係や家庭・社会との関連、自分たちを取り巻く性に関する社会問題などについて考えることを通じて、社会の一員としての生き方、将来における生き方を模索する。
全校 交流会	お互いの取組を知り、活動の振り返りや今後の見通しをもつ機会とするため、各学年から選抜された個人やグループによる全校交流会を実施。

また、性教育の各学年の学習内容を深めるため、次のような講演会も行っている。

対象学年	講演内容	講師
1年生	進徳講演会 生命誕生と命の大切さ	助産師 菊生 典子さん
	保健生活 思春期と性	養護教諭 歌川 瑞紀
2年生	総合V セクシャリティについて考えよう	養護教諭 歌川 瑞紀
	総合V デートDV防止講座	NPO ビーチハウス

3. 「性教育」と保健室の関わり  
保健室には様々な生徒が実態する。不登校、メンタルヘルスの問題、SNSの問題、いじめ、児童虐待、貧困など、多様な背景の背景には「性」が潜んでいることも少なくない。また中学生期は、思春期における心身の発育・発達に関わる悩みも生じやすい時期である。  
保健室における性教育は個別指導が主であるが、教科や総合的な学習の時間等の集団指導で学習した知識を、補完したり発展させたりすることで、保健教育としての「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることにつながる。養護教諭がその専門性を生かし、自校の性教育に積極的に参画することで、より一層の成果が期待できると考える。

<本校の教職員へのアンケートの実施>  
【事前アンケート】  
1. LGBTQ、セクシャルマイノリティという言葉を知っていますか。

質問項目	%
1. ある	100%
2. ない	0%

2. またその言葉の意味を理解していますか

質問項目	%
1. 理解している	50%
2. だいたい理解している	36%
3. 何となくわかる	14%
4. よくわからない	5%

3. 自分のクラス(学年)の子どもが、LGBTQのいずれかに該当するかもしれないと考えたことはありますか

質問項目	%
1. ある	100%
2. ない	0%

4. 今までの教職員歴で、LGBTQの生徒たちと関わった経験がありますか。

質問項目	%
1. ある	64%
2. ない	36%

5. 今までの教職員歴で、LGBTQの生徒たちから先生に打ち明けられたことがありますか。

質問項目	%
1. ある	32%
2. ない	68%

6. あなたは、LGBTQについて、教育の現場で教える必要があると思いますか

質問項目	%
1. そう思う	95%
2. あまり思わない	5%
3. 思わない	0%

7月26日～27日に開催された「第53回全国教育研究大会」の冊子

全国性教育研究大会要項に掲載された本校の性教育の取組

性教育の各学年の活動指導内容

11月10日の講演会に向けて、本校の教職員にとつた事前アンケートの結果